

ARP-87

MULTI-FUNCTION DELAY



ARP-87はコンパクトで多機能なディレイであり、インスピレーション溢れるディレイトーンの巨大なサウンドパレットです。デジタル、アナログ、ローファイ、スラップバックの四種類のメインアルゴリズムを備えARP-87はエコーの世界的水準をカバーします。デジタルアルゴリズムはリズムックなリフにぴったりなクリアなリビート、アナログセッティングではコードや単音プレイの芯を残しつつもウォームさと広がりが増加します。ローファイアルゴリズムではリビートの周波数レンジをコントロールできるためウォーム、歪み、濁り、そして小型AMラジオ風までカバー。最後にスラップセッティングではチキンピッキングスタイルに完璧なスラップバックエコーを演出。スマートバイパススイッチやモニターノブランプ機能も備えARP-87は終わることのない創造性を刺激します。



OUTPUT JACK

1/4インチケーブルでアンプに接続します。

INPUT JACK

1/4インチケーブルでギター（楽器）に接続します。

9V JACK

9-volt DC, Center Negative, 100ma min.

LEVEL

リビートのレベルを調整します。エコーボリュームを上げるにはノブを時計回りに回してください。

RATIO

タップテンポの（デジタル、アナログ、ローファイ）ディレイ設定を行います。スラップアルゴリズムの場合はディレイタイムを設定します。

X

このXノブは各アルゴリズムに応じて機能が変わります。各アルゴリズムの特定パラメータを調整します。

デジタルモード：モジュレーションdepth
アナログモード：モジュレーションdepth
ローファイモード：フィルターwidth
スラップモード：モジュレーションdepth

BYPASS LED

エフェクトオン時に点灯します。

BYPASS SWITCH

エフェクトのオン・オフを行います。スマートバイパススイッチ（下記参照）も行います。

DAMPEN

リビートのトーンをコントロールします。ローパスフィルターのため時計回りにすればフィルターが開きリビート音がプライトになります。反時計回りではフィルターを閉じリビート音がこもります。

REPEATS

リビートの回数を調整します。反時計回りいっぱいまで一回のリビート、時計回りいっぱいまで半永久的リビート。

PROGRAM

Digital(D), Analog(A), Lo-Fi(L), Slap(S)の中からディレイアルゴリズムを選択。

TAP INPUT JACK

外部タップスイッチまたはマスタークロック用インターフェイス。非ラッチ式スイッチのみ使用ください。

TAP LED

ディレイタイムと同期して点滅します。

TAP SWITCH

ディレイタイムを設定します。演奏中のテンポに合わせるには4分音符のタイミングでタップしてください。

MOMENTARY FUNCTIONS

BYPASS SWITCH

スイッチオフの状態からスイッチを押してホールドしている間のみディレイがかかります。スイッチを離すとエフェクトオフになります。エフェクトオンの状態からバイパススイッチを押してホールドするとホールドしている間Xパラメータが最大まで上昇します。スイッチを離せば元のXパラメータに戻ります。

TAP SWITCH

スイッチを押してホールドするとホールドしている間リビートが最大まで上昇します。スイッチを離せば元のリビート設定に戻ります。

TRAILS MODE

ARP-87はトレイルまたは非トレイルモードに設定できます。トレイルモードではエフェクトオフ時にディレイ音が自然に減衰していきます。一方非トレイルモードではエフェクトオフ時に瞬時にディレイをカットします。モードを切り替える方法はペダルに電源を入れる際にバイパススイッチを一秒以上ホールドしてください。電源を抜き、同様の手順を行えばもう一つのモードに切り替わります。

取扱説明書

●安全にご使用いただくために

この度はWALRUS AUDIO製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- 使用開始前に、安全ため下記の説明をよくお読みください。
- お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。



警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意: 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。



警告

1. 火災または感電の危険を避けるため分解したり修理、改造は行わないでください。
2. 火災または感電の危険を避けるため本機器を雨や湿気にさらさないでください。



注意

1. この取扱説明書をよくお読みください。
2. この取扱説明書で説明されている範囲を超えた保守点検作業を行わないでください。
3. 本機器を暖房器具や電熱器などの熱を発生する機器の近くに置かないでください。
4. 本機器に異物や液体が入らないようにしてください。
5. 本機器の清掃には、金属部分の先端部などでけがをしないよう注意して、乾いた布のみを使用してください。
6. 火器の近くを避け、安定した場所に保管してください。天災による事故、火災の原因となったり、地震の際に落下してけがの原因になることがあります。
7. 発火や感電の危険を避けるため本危機を濡れた手で、水の近くで使用しないでください。